

日本英文学会九州支部第62回大会プログラム

時：2009年10月24日(土)・25日(日)

所：宮崎大学(宮崎市学園木花台西1丁目1番地)

第1日 10月24日(土)

開会式……………(13時より 於L107)
司会 北九州市立大学教授 山崎和夫
開会の辞……………支部長 木下善貞
挨拶……………宮崎大学副学長 村岡嗣文
事務局報告

研究発表(①13時30分 ②14時10分)

第一室(L203) 司会 山口大学教授 宮原一成
1. 複数の視点・ジャンルを駆使した庶民のユーモア大河小説
—ケイト・アトキンソン『博物館の裏庭で』—
水産大学校准教授 高本孝子
2. Ian McEwan の *Atonement* における探偵小説的手法からの一考察
北九州市立大学大学院博士後期課程 小宮初美

第二室(L205) 司会 北九州市立大学准教授 Rodger Williamson
1. ラフカディオ・ハーンとギョ・ド・モーパッサン
九州大学大学院博士後期課程 藤原まみ
司会 北九州市立大学教授 木原謙一
2. Philippa Pearceの作品における子どもの願望の実現と喪失
九州大学大学院修士課程 原田洋海

第三室(L303) 司会 鹿児島大学教授 千葉義也
1. ニック・アダムズと「伝道の書」—ヘミングウェイの宗教観再考—
九州大学准教授 高野泰志

司会 熊本県立大学講師 坂井隆
2. 悲劇のスター—*A Streetcar Named Desire* におけるまなごしの客体としてのランチ—
福岡女子大学大学院博士後期課程 岡裏浩美

第四室(L305) 司会 鹿児島大学教授 竹内勝徳
1. Edgar Allan Poe—探偵小説の完成型—
北九州市立大学大学院博士後期課程 津田隆志

司会 鹿児島女子短期大学教授 高島まり子
2. 母親としての dark lady—*The Scarlet Letter* における Hester Prynne の葛藤—
九州大学大学院修士課程 田島優子

第五室(L306) 司会 福岡工業大学准教授 宗正佳啓
1. 英語の wh-in-situ 句とフェイズ理論
九州大学大学院博士後期課程 西村恵
2. That 痕跡効果再考
九州大学大学院修士課程 阿部春加

シンポジウム(15時～17時30分)

第一部門「イギリス文学」(L101)
George Eliotと同時代の文人たち
講師 宇部工業高専准教授 矢次綾
司会・講師 山口大学准教授 池園宏
講師 九州工業大学准教授 虹林慶
講師 九州大学准教授 鶴飼信光

第二部門「アメリカ文学」(L102)
境域のアメリカ文学 司会・講師 琉球大学准教授 喜納育江
講師 札幌大学准教授 豊里真弓
講師 熊本電波工業高専准教授 楠元実子
講師 琉球大学講師 井上間從文

第三部門「英語学」(L302)
意味と形式の変化の諸相 司会 産業医科大学准教授 大橋浩
講師 京都大学非常勤講師 進藤三佳
講師 京都大学准教授 家入葉子
講師 熊本大学教授 登田龍彦

※懇親会(18時30分～20時30分)

於:サンホテルフェニックス [住所:宮崎市塩路浜山3083] 会場への無料送迎バス 17時50分発

第2日 10月25日(日)

研究発表(①9時20分 ②10時 ③10時40分 ④11時20分 ⑤12時)

第一室(L203) 司会 熊本県立大学教授 村里好俊
1. *Venus and Adonis* (1593)における多層性—変身の継承、愛への復讐、饒舌な女性性への反発—
福岡女子大学大学院博士後期課程 國崎倫
司会 鹿児島大学准教授 大和高行
2. *King Richard the Third* におけるデフォルメ表象—完全なるものを希求して—
福岡女子大学大学院博士後期課程 林恵子
3. 『リチャード三世』における馬の象徴性—白い馬、白い猪、そして太陽—
西南学院大学大学院博士後期課程 雨森未来
司会 九州大学教授 太田一昭
4. 『復讐者の悲劇』研究—「時間」としての復讐者—
西南学院大学大学院博士後期課程 棚町温

第二室(L205) 司会 九州大学教授 谷口秀子
1. *Bleak House*—腐敗に働きかける神意—
九州大学大学院博士後期課程 谷綾子
司会 長崎大学准教授 松田雅子
2. *Dubliners* の女性—抑圧と解放—
九州大学大学院博士後期課程 田中恵理
3. *The Moon and Sixpence* における人間の結びつきについて
熊本大学大学院修士課程 右田朋
司会 九州工業大学准教授 虹林慶
4. 昇華する魂—*Alastor* における Poetの死の意味—
福岡女子大学大学院博士前期課程 山河聡子
司会 熊本県立大学教授 村里好俊
5. Matthew Arnoldの“*Tristram and Iseult*”—19世紀の語り直しと夢の見直し—
福岡女子大学大学院博士前期課程 小田優理子

第三室(L305) 司会 佐賀大学准教授 名本達也
1. *The Ambassadors* における獲得への道のり—Henry Jamesの金銭観—
九州大学大学院博士後期課程 斎藤彩世

司会 九州東海大学教授 高田修平
2. The Precession of Palmer Eldritch
九州大学大学院博士後期課程 Bouarib Allan

司会 西九州大学准教授 渡邊真理子
3. 解体された時間、構築された哲学
—*Slaughterhouse-Five* における時間旅行とトラルファマドール哲学—
九州大学大学院修士課程 吉津京平

司会 熊本電波工業高専准教授 楠元実子
4. Juria Alvarez作 *How the Garcia Girls Lost Their Accents* における Garcia一家の米国での文化的適応
福岡女子大学大学院博士後期課程 塚本美穂

司会 福岡大学教授 大島由起子
5. *Indian Killer* の両義性—“A Creation Story”の再考による2つの読みの可能性—
福岡女子大学大学院博士後期課程 和田幸恵

第四室(L306) 司会 宮崎公立大学教授 福田稔
1. wh関係詞と先行詞の同一解釈に関して
九州大学大学院博士後期課程 黒木隆善
2. 関係節の再構築に関して
九州大学大学院修士課程 松永享子

司会 長崎大学教授 西原俊明
3. 場所句倒置構文の派生について
九州大学大学院修士課程 重松諒爾

福岡大学大学院博士後期課程 林幸代
4. The extraction out of *if*-clauses

司会 福岡大学教授 久保善宏
5. 文断片と格現象
九州大学大学院修士課程 永次健人

特別講演(13時30分より 於L107) 司会 北九州市立大学教授 山崎和夫

神戸女子大学教授 河上誓作 「言葉の意味とテキスト構造—アイロニーの場合—」

閉会式……………(15時より 於L107)
挨拶……………宮崎大学 准教授 井崎浩

〒802-8577 北九州市小倉南区北方4-2-1 北九州市立大学大学院文化・言語専攻 英米文化領域 木下善貞研究室

日本英文学会九州支部

TEL / FAX 093-964-4154 / E-mail: kinos@kitakyu-u.ac.jp